

合格アシストノート

第1予想 第2問

解き方

Step1 ●特殊仕訳帳の親勘定と売掛金、買掛金はTフォームを作成し、答案用紙の月初残高を記入します。

Step2 ●1月中の取引をTフォームに記入します。Tフォーム以外の勘定はその他に記入します。

Step3 ●Step2を集計し、答案用紙に記入します。

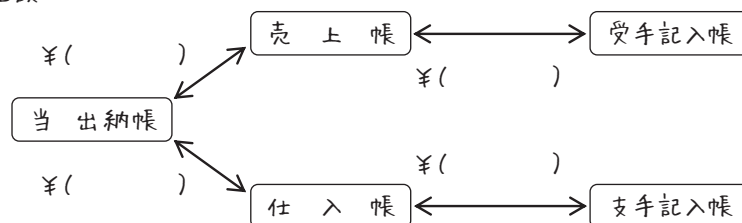
仕 入		買 掛		支 手	
仕入帳 ()	月末 ()	当 出納帳 ()	月初 51,200	当 出納帳 ()	月初 ()
		支手記入帳 ()	仕入帳 ()	普 仕訳帳 ()	支手記入帳 ()
		月末 ()		月末 ()	

売 上		売 掛		受 手	
月末 ()	売上帳 ()	月初 ()	当 出納帳 ()	月初 ()	当 出納帳 ()
			受手記入帳 ()	受手記入帳 ()	月末 ()
		売上帳 ()	普 仕訳帳 ()		

当 預		受 手	
月初 ()	当 出納帳 ()	月初 ()	当 出納帳 ()
当 出納帳 ()	月末 ()		

そ の 他			
当 出納帳 ➡	給 料 ()	売 買 有 証 ()	← 当 出納帳
	消 耗 品 費 ()	有 証 売 却 益 ()	
	借 入 金 ()		
	支 払 利 息 ()		
普 仕訳帳 ➡	未 払 利 息 ()	支 払 利 息 ()	← 普 仕訳帳
	消 耗 品 費 ()	消 耗 品 ()	
	貸 引 ()		

二重仕訳控除金額:



第1予想 第4問

解き方

Step 1 ●直接工賃金・間接工賃金+工場事務職員給料、2つのボックスを作ります。

Step 2 ●取引を頭の中で仕訳しながら、Step1 のボックスに数値を記入します。

Step 3 ●最後に2つのボックスの合計額を答案用紙の賃金・給料勘定に記入し、差額で賃率差異を求めます。

直接工		間接工+事務員	
支給 ()	前月末残 ()	支給 ()	前月末残 ()
	予定配賦 直 ()		当月消費 ()
当月未払 ()	間 ()	当月未払 ()	
	差異 ()		

→ 仕掛品へ
→ 製間費へ

合格アシストノート

第1予想 第3問

解き方

Step 1 ●決算整理事項等の仕訳をします。

Step 2 ●〔資料 I〕 決算整理前残高試算表の数値に Step1 を加減算し、答案用紙の P / L ・ B / S に記入します。

1. (1) 仕訳なし
(2) 仕訳なし
(3) /

2. 雑 損 /
/

3. 仕 入 / 繰 商
繰 商 / 仕 入
棚 減 /
/ 棚 減

4. /

5. /
/

6. 満 保 債 券 / 有 証 利 息

7. /

3. 帳簿 ()
@ ()
実地 () 棚減 ()
() 個 () 個

6. H22 1/1 ← 72ヵ月 (6年) → H27 12/31
() 円 当期 (12ヵ月) 1,500,000 円
↓
(1,500,000 円 - () 円) × $\frac{12 \text{ ヵ月}}{72 \text{ ヵ月}} = ()$ 円

1/1 9/1 12/31 8/31
再振替 () ヵ月分 当期支払 12ヵ月分
前払分 () ヵ月

8. /

9. / 仮 払 金
/

第1予想 第5問

解き方

Step 1 ●第1工程、第2工程の2つのボックスを作ります。

Step 2 ● Step1 に数量データおよび原価データをあてはめて、月末仕掛品および完成品原価を求めます。

【第1工程:平均法】

		(個)	
月初	完成		
362,800 数 1,000			
222,400 換 ()	15,000 ()		
当月	仕損		
5,577,200 数 ()	500		
4,229,600 換 ()	月末		
	数 1,500 ()		
	換 () ()		

【第2工程:先入先出法】

		(個)	
月初	完成		
622,000 数 1,000			
167,000 換 ()	14,000 ()		
当月			
() 数 15,000			
3,675,000 換 ()	月末		
原料Y:586,00	数 2,000 ()		
	換 () ()		

合格アシストノート

第2予想 第3問

解き方

Step 1 ●決算整理事項およびその他の修正事項を仕訳し、修正記入欄に記入します。

Step 2 ●残高試算表の金額と Step1の金額を集計し、P / L 欄、B / S 欄に記入します。

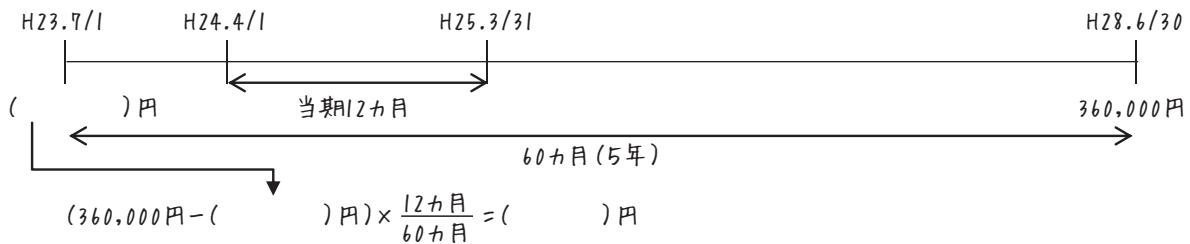
期末商品の評価:

@ ()	評価損	棚減	帳簿
@ ()	()	()	()
	実地	()	
	()		
	() 個	() 個	

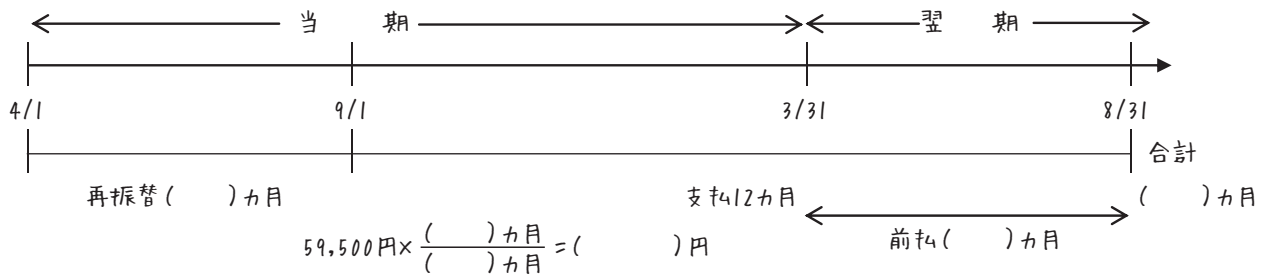
売上原価: (評価損、棚減振替前)

仕入	
期首	売上
()	()
当期仕入	期末
()	()
()	()

社債:



保険料の繰延:



合格アシストノート

第2予想 第4問

解き方

Step 1 ●まず原価計算表を作り、必要な計算をしましょう。

Step 2 ●Step1 から月末仕掛品、月末製品の金額を求め、差額で完成品原価と売上原価を求めます。

5月	#101	6月	#102	#102-2	#103	#104	合計
月初			198,000	-	-	-	198,000
直材			-	()	()	()	()
直労			()	()	()	()	()
間接			()	()	()	()	()
計	744,000		()	()	()	()	()

仕掛品	
月初仕掛品	完成品原価 (差額)
当月製造費用	
	月末仕掛品 6月末未完成 #104()円

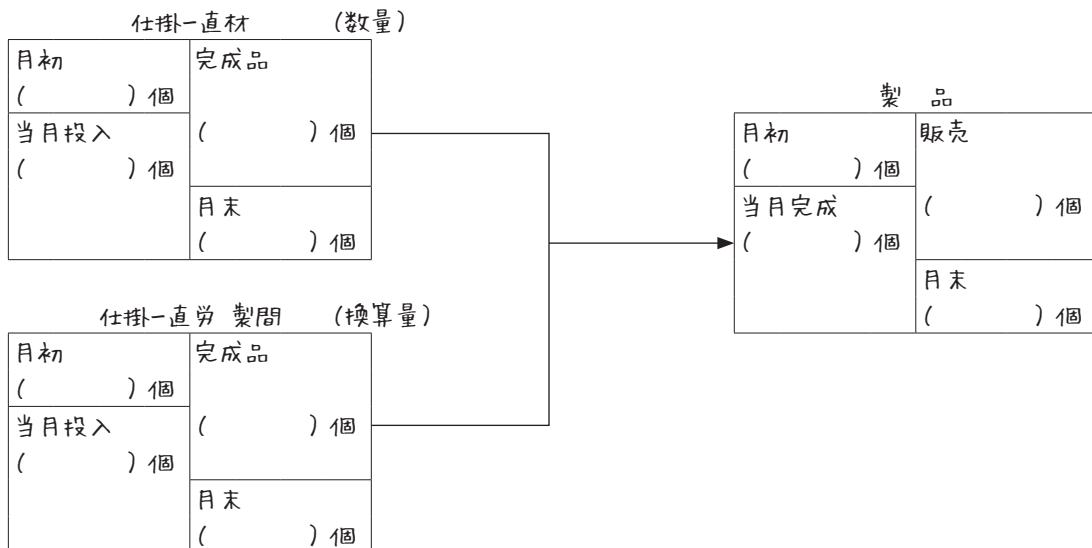
製 品	
月初製品	売上原価 (差額)
完成品原価	
	月末製品 6月末販売 #103()円

第2予想 第5問

解き方

Step 1 ●当月の生産、販売実績のボックスを作成し、数量データを記入します。

Step 2 ●Step1の数量データをもとに、それぞれの標準原価を計算し、答案用紙に記入します。



合格アシストノート

第3予想 第3問

解き方

Step 1 ●まず、未達事項の仕訳をしながら、本店・支店・本店から仕入・支店へ売上勘定のTフォームに転記していきます。このとき、Tフォーム以外の勘定は、問題用紙の残高試算表に直接加減します。

Step 2 ●決算整理仕訳を行い、答案用紙に残高を記入します。

Step 3 ●内部利益の計算を行い、下記のボックスを完成させます。

未達事項の整理:

本店に未達: 2. /

4. /

5. /

支店に未達: 1. / → 期末棚卸高に算入

3. /

本店帳簿

支店	
T/B	¥41,400
5. ()	2. ()
	4. ()
{ () }	

支店帳簿

本店	
3. ()	T/B ¥41,900
	1. ()
{ () }	

一致

支店へ売上	
()	T/B ¥89,100

本店から仕入	
T/B ¥88,000	1. ()
	()

一致

売上原価の算定:

商品ボックス

T/B 繰越商品 →	期首			売原→P/Lへ ()
	本店	19,500		
	支店	13,650		
	内部利益 △	()		
T/B 仕入 →	合計	()		期末→B/Sへ 本店 18,200 支店 () 内部利益 △ () 合計 ()
	当期仕入			
	本店	()		
	支店	()		
	合計	()		

注) 支店期末棚卸高に未達商品を含めることを忘れずに!

合格アシストノート

第3予想 第4問

解き方

Step 1 ●生産データのボックスを作り、当月投入量(換算量)を求めます。

Step 2 ●当月投入量に基づき、当月標準材料消費量と当月標準直接作業時間を求めます。

Step 3 ●Step2で求めた当月標準材料消費量と当月標準直接作業時間に基づき差異分析図を作成し、差異分析をします。

生産データ (個)	
月初 375 ()	完成
当月投入 a() b()	2,190
	月末 400 ()

当月標準材料消費量;

$$a() \text{ 個} \times 4 \text{ kg} = () \text{ kg}^{*1}$$

当月標準直接作業時間;

$$b() \text{ 個} \times 0.4 \text{ h} = () \text{ h}^{*2}$$

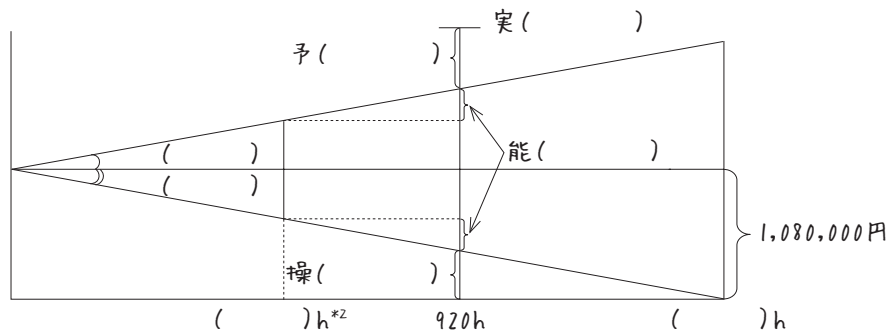
差異分析: 直材

@ ()	価格
@ ()	()
	数量 ()
	() kg ^{*1} () kg

直労

@ ()	賃率
@ ()	()
	時間 ()
	() h ^{*2} () h

製間



第3予想 第5問

解き方

Step 1 ●生産データのボックスを作り、数量データおよび原価データをあてはめます。

Step 2 ●Step1をもとに、月末仕掛品原価および完成品総合原価を求めます(先入先出法)。

		生産データ (個)	
原	907,500 円	月初 900	完成
加	960,000 円	()	()
原	9,024,750 円	当月投入 ()	仕損 100
加	18,240,000 円	()	月末 750
		()	()

合格アシストノート

ウラ予想 第3問

解き方

Step 1 ●まずは「未処理」・「未記帳」の仕訳をします。

Step 2 ●決算整理事項の仕訳をします。

Step 3 ● Step1、Step2 をもとに、残高を求め、答案用紙に記入します。

(1) 仮受金の処理

	/
	/

(2) 剰余金の処分

	/
	/
	/

(4) 期末商品の評価

@¥800

実地 ()	棚減 ()
()個	()個

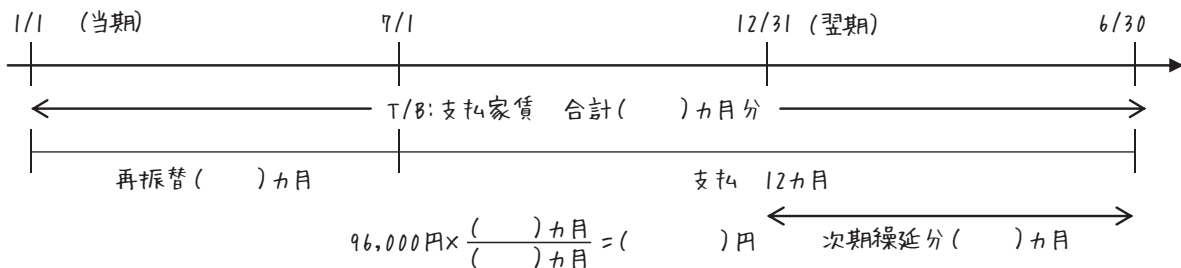
帳簿

()

売上原価の算定

期首	302,000
当期	1,978,000
計	()
期末	()
差引	()
棚減	()
合計	()

(7) 支払家賃の繰延べ



合格アシストノート

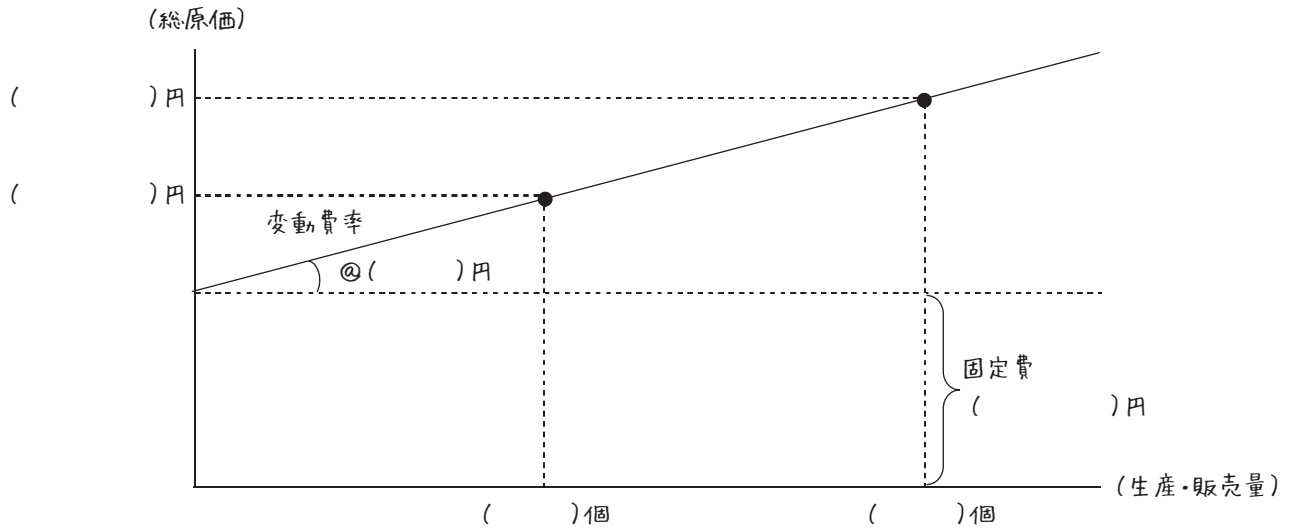
ウラ予想 第5問

解き方

Step 1 ● 高低点法による固変分解は、図を作成するとわかりやすいです。ただし、基準操業度の 80 ～ 120% に当てはまる生産量のデータしか使えませんので注意しましょう！

Step 2 ● CVP 分析は、簡単な直接原価計算の P / L を作るとよいでしょう。

問1



問2

売上高	()
変動売上原価	()
変動製造マージン	()
変動販売費	()
貢献利益	()
固定費	()
営業利益	()

問3

売上高	
変動費(販売費含む)	
貢献利益	
固定費	
営業利益	

問5

$6,000X_1$
$3,300X_1$
$2,700X_1$
()
0
$X_1 = () \text{ 個}$

問6

$6,000X_2$		$6,000X_3$
$3,300X_2$	増加額+	() X_3
$2,700X_2$	増加額+	() X_3
()		()
$24,300,000$		$24,300,000$
$X_2 = () \text{ 個}$		$X_3 = () \text{ 個}$